

第二回合同検討会

平成 27 年 11 月 13 日

チーム B 小日向・島倉・小林・吉澤・川村・横山・深谷

<新しいスポーツを開拓しよう！>

「スポーツカフェ」

- ・大勢で楽しめる
- ・スポーツ好きでない人も巻き込める。
(例：ちょこざいややカラオケ店などを利用)
- ・著作権の問題

「スポーツの開拓について」

- ・健康にいい運動 ・老若男女誰でもできるもの。
(例：水鉄砲 ウォークラリー 速歩
ゲートボールに代わるものなど)

「施設」

- ・メインスポーツ施設不足
(例：野球施設 水泳など)
- ・現在ある施設を活用 ・誰でも入れる施設

☆施設というハード面にこだわらず、ソフト面から始めるほうが手取り早い。
☆スポーツにこだわらず、ゲーム・文化・音楽・ダンスなど様々な側面からアイデアを出し合ってみましょう。

<学生・若者に優しい街にしよう！>

「施設」

- *火が使える施設がほしい。
→火を使うのは難しい。
- *生活費が抑制できる施設がほしい。
→総合体育館を使用するとシャワーが使
→市の情報を活用し、施設を知る。
→豊栄入門を作る。
(どこに何があるか。どんなイベントをしているか。)

「本屋」

- *気軽に勉強できるようなカフェ付きの本屋がほしい。
→先輩からのおさがりの本を集めた古本屋
→本屋は経営的に難しい？
→専門書はネット通販のほうが便利。

☆入学時オリエンテーションで、地域情報がわかるようなアプローチを検討すべき。
地域のほうで、知ってほしい情報は何か？

<世代間交流ができる施設を作ろう！>

「施設の場所」

- ・区役所の跡地利用の計画の中で検討！

「管理職など」

- ・当番をする人がいない。

「交流スペース」

- ・民間での貸館

「お金の面」

- ・収入源の確保
→資金を得るための商品を作る。
→飲み物代から資金を得る。
→職員への給料

☆施設建設については行政・民間共に建設資金の計画に難があるが、住替え・空家のシェアハウス利用を併用して知恵を出そう。

<元気な高齢者を活用しよう！>

「元気な高齢者のための〇〇教室」

- 既にやっている。
- 情報が若者に届いていない。

「情報伝達について」

- 若者から高齢者への情報伝達も考えるべき。
- 大学行事の情報も地域に伝わるようにするべき。

☆地域の情報が学生達に伝わっていない。
新聞折込の市報情報ですら伝わらない。
市報情報等の伝達方法を再検討すべき。
☆コミュニティビジネスという視点の説明が不十分な為、提案の主旨が理解されていない。
具体化で表現方法等も要検討。